

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

☆チェワ
語講座☆

ありがとう
↓
ジコモ

（空手）
少し時間をさかのぼりますが、空手大会の話を書きます。マラウイで道端を歩いてみると、ふざけてパマンチやキックをするマネをされる事があり「カンフー空手」と叫ばれます。アジア人は誰でも、カンフー、空手、柔道ができると思われており、スキップ代わりに見様見真似の動作を見せてくれます。実際にマージャルアーツ（武道）はとも人気があり、教えてくれと頼まれる事が多々あります。私自身日本での空手経験は少しですがマラウイで役立てたいと思います、マラウイ到着直後にとある道場に行き練習に参加させてもらいました。首都にある空手団体のひとつでホテルの部屋を利用して週二回ほど練習をしているようです。数年前に日本人から指導を受けたり、それ以来マラウイ人を代表の先



生として日々練習に励んでいるようです。基礎を中心とした練習がされており、きちんと礼に始まり礼に終わる稽古風景に感心しました。マラウイでの空手の歴史はまだ浅く、これまで一度も大きな大会が行われた事はありませんでした。しかし、今回初めてマラウイ国内における空手大会が日本大使館主催の元開催される事になり、審判兼ゲストとして参加することが出来ました。大会には全国の主要都市から6つの団体が参加し、型の演武のみが行われ参加者の真剣な眼差しに緊張感漂う有意義な大会となりました。補足ですが、マラウイの厳しい電気事情の中の開催となりますので、途中で停電してしまいがちです。利用しながら大会が継続されました。そんなトラブルもマラウイならではのものです。ちなみに剣道大会、柔道大会も開催されています。

【スーパーのレジ】

私の任地にはスーパーはありませんが、首都に行けば数件の大きなスーパーが存在します。価格も高めですのでつい買いすぎてしまうと、一か月の食費を優に超えてしまいます。そんなスーパーのレジの店員ですが、全員日本に修行に来てほしいものです（笑）これが海外の常識なので受け入れるほかないのですが、最初は動揺しました。肘をつきながら仕事をし、商品は投げる、言葉は単語を発するのみ、もちろん笑顔などの気持ちのいい態度をされた事はありません。しかし本人達に悪意は無く、日本の固定概念を持っていた私に非があるのだと理解し、温かい気持ちで日々利用しています。

【手をつなぐ】

マラウイでは道端で男性同士が手をつなぐ場面をよく見かけます。どのような状況で繋ぐのかは詳しく分かりませんが、仲良く肩を組むぐらいの軽い感覚です。私も見知らぬ人に道をエスコートされる際に手を繋がれて初めはビックリしました。どうやら親切や信頼を表す表現方法の一つの様です。

【バオバブの木】バオバブの木をご存知ですか？サバンナ地帯に多く分布する大きな幹が特徴な樹木です。年輪が無い事から樹齢を知ることは難しいとされていますが、古いものでは数千年に達すると言われています。そんなバオバブの木ですがマラウイでは南部を中心として多く見かけることが出来ます。日本ではあまり見慣れない木ですので、移動中の風景の中に騒然と立っているバオバブの木を見ただけで時間を忘れてしまいます。なんだかこの木、個人的にとっても好きなんです。道端で大きな木を見つけてしまうと近づいて触ってみたいくなります。何故かパワーを感じるというか特別な雰囲気身をまとっています。

日本人が中国人と思われるという事は何度もお伝えしてきたと思います。つい先日空港に居たところ（HEY、ジェット・リ）と空港の職員に呼び止められました。いくらなんでもそんな人の呼び方あるか？と思いましたがどうやら困った様子でした。それは中国人の乗客が英語が分からないので通訳してくれという依頼だったので、当然中国語なんです。分力にはなれませんでした。日本に居たら凄く失礼と感ずけらる事もあるマラウイでは日常茶飯事です。この二年間でかなり心が広い人間になりました。マラウイでは怒っている人を見て周囲の人が笑う事があります。「何怒ってんだ」「ここはマラウイだぞ」と感じます。まったくアフリカとは陽気で温厚な国です。

